
Palácio do Raio

について

ライオ小宮（Palácio do Raio）ジョアン5世（1706 - 1750）の時代に、アンドレ・ソアレスがジョゼ・デュアルテ・デ・フェレイラのために設計した宮殿で、バロック時代の素晴らしい民間建築物です。ジョゼ・デュアルテ・デ・フェレイラは強い影響力を持った商人で、キリスト騎士団の騎士でもありました。1834年にサン・ラザロ子爵ミゲル・ジョゼ・ライオがここを購入したことから、この建物は子爵の名前を取ってライオの館またはライオ小宮と呼ばれるようになりました。装飾の面では、ファサードを覆うタイル、炎の形の模様やアンフォラ（両取手付きの壺）で飾られた素晴らしい手すり、錬鉄や加工した御影石を使ったベランダなどがあります。屋内にある階段も一見の価値があります。

問い合わせ先

Rua do Raio 4700 Braga

バリアフリー案内

入口へのバリアフリー経路

- 全部

バリアフリー入口

- 全部

建物内のバリアフリー通路

- 一部

バリアフリーのエリア/サービス

- 身体障害者用設備

その他の情報

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。